

令和7年度 群馬県立女子大学 高大連携による公開講座一覧及び授業概要【前期】

曜日	時限	授業科目名	担当	授 業 概 要
月	4	芸術の現場から（リレー講座）	藤沢	芸術分野で活躍する、また群馬にゆかりのあるアート関係者から、ホットな話題を自分の体験とともに提供していただくリレー講座。 美学美術史学科ウェブサイト https://www.gpwu.ac.jp/dep/lit/art/ →「芸術の現場から スケジュール」ページ
		古文読解法	佐藤(洋)	源氏物語、紫式部日記、枕草子、百人一首をととして、古典文学作品を読むために必要な語法や文法（とくに助動詞）と文化的な側面について学ぶ。
		国際法(基礎)	鈴木(悠)	国際法の基礎的な知識とともに、外交、領土問題、国際組織、人権、犯罪、経済、環境、安全保障、武力紛争などの様々な分野で、国際法がどのような役割を担い、どのように機能しているのか、ということを知ります。加えて、国際法と現代社会の諸問題との関連についても理解を深めます。
	5	生物学 1	石田	自然科学としての現代生物学（生物科学）の枠組みの中で、生物は地球上における生物進化の産物であるという大原則の基に解説する。進化とはなにか、進化の産物ということとは、どういうことか、を繰り返しいろいろな事例を使って紹介する。写真、図、動画、書物や論文（古典から最新のもののまで）からの引用を使い、講師自身が行ってきた研究や活動も織り交ぜ、プロジェクターで投影して講義する。さまざまなURLを紹介し、授業で投影したスライドはpdf形式でウェブ・フォルダー資料として受講者（校内からは自由）に提供する。
		データサイエンス	甲村	スプレッドシートを用いて実習しながら、データサイエンスの基礎を学習します。
火	4	グローバル・シチズンシップ～大使リレー講座～	鈴木(悠)	この講義では、SDGs(Sustainable Development Goals)に関連して活動されている外部講師による知見や経験についての講演を聴きます。そして、グローバル・シチズンとしての認識を育むとともに、持続可能な社会を実現するために、現代社会における課題に対して問題意識を持ち、理解を深めます。受講生には、講演の内容をもとに、自身の考えや疑問を発言する機会があります。また、外部講師による講演の授業では毎回課題の提出が求められます。
		比較文学	市川(浩昭)	比較文学は、民族・言語・文化・宗教・地域そして国境などの領域を異にする文学や文化現象が、その境界を越えて関連し、異言語・異文化・異民族の世界に独自の文学や文化現象を生み出した事象の中に普遍的な実態とその価値を探索、文学文化研究の一分野である。この講座では、教養教育の立場から文学という文化現象が、異言語・異文化・異民族間に共有された事実から何を考えることができ、また何を考えなければならないのか、という比較研究がもたらす問題認識を醸成していきたい。そして比較研究の本来の目的である境界を越えた普遍的な価値の構築という、その意義を伝えたい。
木	4	航空と観光ビジネス入門	未定	講師による講義12回のうち、観光について5回、航空ビジネスについて7回を予定。学外講師による特別講義を2回、まとめのディスカッションを1回。最後に試験を実施。（詳しくは授業計画を参照）
		クリティカル・シンキング	細川	この授業では、主に戸田山和久『思考の教室——じょうずに考えるレッスン』(2020)の第1部「基礎編」に従って、自分と他者の議論の「説得力」ではなく「信頼性」を高め合うための、クリティカル・シンキングの理念を理解します。また、そのための基本的な原理と技術を習得し、実践します。
		経営学	于	企業経営活動の仕組み、企業の形態と株式上場、企業の経営戦略、経営の国際化などを学ぶことによって、現代社会の企業の経営活動に対する理解を深める。
	5	日本美術に親しむ 1	三宅	日本美術の様々な分野について基礎的な内容から学んでいく。例えば絵画なら、巻子（絵巻）や画帖、掛軸、屏風など、画面形式ごとにその特質や展開、多様な様相を学び、日本美術の基礎的な知識を身につけ、作品や分野の魅力を味わっていく。
金	4	マスコミ論	河島	日常生活で接する様々なマスメディア（新聞、放送、出版、広告、映画など）について、その概要と産業としての特徴を学ぶ。記者クラブ制度、誤報と虚報、プライバシーの侵害などマスコミの倫理問題も扱う。
		ヨーロッパの文化と社会	小林(弘)	「ヨーロッパ」という言葉を耳にしたリロにすることは、よくあると思います。しかし、私達が「ヨーロッパ」と呼んでいるものは、実際、どのような姿をしているのでしょうか。この授業ではほんやりとしたイメージしかないかもしれない「ヨーロッパ」の実態を、様々な面から掘り下げていきます。
		ラテンアメリカの国際関係	未定	本講義では、ラテンアメリカ地域について多面的に学び、今まさにこの地域で起きている事象を理解するために必要な基本的知識を身につけることを目標とします。
		Speech Communication	小笠原	We share and exchange our thoughts and information through the verbal and nonverbal linguistic symbols, and speech is the main mode of communication for humans. For a better communication in English, it is important for students to build their confidence in interpersonal communications. This course will help students to develop and improve their skills of pronunciation, group discussions, and public presentations by providing the fundamental concepts of phonetics and phonology and sufficient practices of English pronunciation.
	5	世界の宗教	片倉	世界の宗教のうち、世界総人口に占める信徒の割合を現在の4分の1から、2050年には3分の1まで増やすであろうともいわれているイスラーム教について学びます。その信仰内容、歴史、現代社会における展開など、さまざまなテーマから講義の各回1つずつを取り上げ、ごく基本的な知識から解説します。さまざまな宗教をまんべんなく学ぶことを目的とした授業ではありませんので、履修の際には注意してください。
		データベース・プログラミング	中村(賢)	現在はデジタル技術がなくてはならない世界になり、国際社会を生きる学生にとってデジタル技術は必須です。しかしながら、日本社会はデジタル技術に後れを取っていることも事実です。古い技術の非効率さがどこにあるのかを考えるためにも、本授業ではインターネット上で用いられる新しいプログラミングの基礎とセキュリティ概念について学びます。2022年に政府・自治体は、行政データのクラウド化を進めており、クラウドベースの学習をします。実際に課題を行いながら、クラウド上で動作するWebアプリの構築を目指します。
		ヨーロッパの国際関係	小林(弘)	現在EUとして地域統合を進めているヨーロッパも、数々の戦争や危機を経験してきた。この授業では数々の困難を乗り越え現在まで辿り着いたヨーロッパの国際関係を、歴史的に見ていく。特に欧州統合の流れに注目する。

※授業の詳細は、本学HP（<https://www.gpwu.ac.jp/>）で令和6年度版シラバスを参照いただくか、個別にお問い合わせください。
 なお、内容については変更になる場合があります。

令和7年度 群馬県立女子大学 高大連携による公開講座一覧及び授業概要【後期】

曜日	時限	授業科目名	担当教員	授 業 概 要
月	5	現代の国際事情	鈴木(悠)	この授業では、現代国際社会の諸問題に関してリサーチし、プレゼンテーションを実施します。また、グループワークやディスカッションなどの活動もあわせて、現代国際社会の課題を発見していきます。
火	4	グローバル・シチズンシップ～大使リレー講座～	鈴木(悠)	(前期と同様)
		プロジェクト・プランニング	兼本	商品開発プロジェクトの模擬体験を通して、商品開発の考え方を学ぶ。
水	4	文化人類学2	飯塚	現代のグローバル化の波は、私たちの身近な地域コミュニティにも、民族、宗教、国籍、ジェンダー、価値観、ライフスタイルなどが異なる人びとがともに暮らす多文化・多民族化をもたらしている。私たちはこうした多様な文化的背景をもつ人びとをいかに理解し、彼らと共に生きるべきなのか。本講義では、異なる社会の文化や慣習の理解をつうじて、人間について理解することを目指す文化人類学の理論を学ぶ。同時に、こうした理論が、今の自分自身が生きる世界といかに関連しているのか、さまざまな民族誌的資料をとおして考える。
		中東・アフリカの国際関係	荒井	中東・アフリカの国際関係の特徴について、歴史的経緯を踏まえながら、アイデンティティの問題、資源と経済の影響、内戦といったテーマを扱う。
木	4	社会の中の日本語	富岡	我々は、様々な「社会」の中で、多くの人と関わりながら、「社会生活」を送っています。この講義では、様々な「社会」や「社会生活」の中で使用される様々な日本語を観察したり考えたりしていくことで、日本語へのより幅広い関心を喚起するとともに、間接的に、我々がことばの中で生きていくということを考える時間にします。
		Topics in Communication	梅田	In this course, we explore various topics related to interpersonal communication and group communication. This course not only introduces students to the basic concepts of human communication but also emphasizes the application of these concepts in real-life situations.
		Contrastive Linguistics	吉村	This course is an introduction to contrastive analysis of languages, comparing and contrasting two or more languages on their linguistic features (phonological, morphological, lexical, structural, and semantic features). While focusing on English and Japanese, the course additionally covers data from other languages to illustrate typological patterns as well as crosslinguistic diversity.
	5	日本美術に親しむ2	浦木	日本美術について、各授業ごとに「色」「形」「武家」「大衆」などのテーマを設け、分野横断的に様々な視点で学ぶ。日本美術の造形的な魅力、基本的な知識、社会背景に関する知見などを身につけ、専門的に学ぶことの足がかりとする。
		世界の英語	深谷	世界の様々な地域で使用されている英語について、社会的背景や音声・文法・語彙の特徴等について学ぶ。
金	4	哲学A	細川	これまでの標準的な哲学史を、「情報」の観点からとらえなおし、「情報論としての哲学史」として再解釈・再構成することを試みます。 今年度は主にハイデガーの哲学思想を情報論的に再解釈し再構成することを試みる予定です。
		Cross-cultural Pragmatics	吉村	This is a course on cross-cultural pragmatics. Pragmatics is the study of language use in context, where context includes linguistic and sociocultural surroundings. This course introduces central concepts in cross-cultural pragmatics (speech acts, politeness theory), and discusses how to compare and contrast certain language use in different languages and
		人間行動と情報	甲村	人や集団の行動や思考について、講義を中心に学際的に学びます。

※授業の詳細は、本学HP (<https://www.gpwu.ac.jp/>) で令和6年度版シラバスを参照いただくか、個別にお問い合わせください。
なお、内容については変更になる場合があります。